

引き続き堅調に推移

高速道路料金の共同精算や燃料共同購入などの事業を手掛ける33単協で組織する全国商工事業協同組合連合会（高井利夫会長、本部＝兵庫県姫路市）の傘下3

組合は9月25日、JR姫路駅前のホテルモントレ姫路で総代会を開いた。あいさつで高井会長は「コ

う」と話した。

3単協の決算の概要は次の通り。

ビス事業協組＝事業収益16億269万円、事業利益307万円、同1860万円
△協組情報ライン＝同8億4047万円、同1162万円、同899万円

△協組KNKサル表は「新たな制度が事業者側にとって、アドバイスを行った。(三村秀寿)

市)の佐久間翔一代をもとに、わかりやすく説明し、的確なアドバイスを行った。

(三村秀寿)

R姫路駅前のホテルモントレ姫路で総代会を開いた。あいさつで高井会長は「コ

ンしたもの、その後は元に戻っている。協力いただいた皆さんに、いい決算

△エヌ・ケー・サー
ビス事業協組＝事業
収益16億269万円、
事業利益307万円、
同1860万円
△協組情報ライン＝
同8億4047万円、
同1162万円、
同899万円

△協組KNKサル表は「新たな制度が事業者側にとって、アドバイスを行った」としている。

新潟ト協重量部会では、「佐久間氏が出版している書籍『特殊車両通行許可申請の説明書』を見し、事例などで分かりやすく解説されていて、役に立つとして、研修会の講師にお迎えした」という。

特車3制度の活用方法を解説

新潟ト協重量部会 研修会

新潟ト協重量部会（湯坐征宏部会長）は9月26日、「特殊車両通行確認制度について」の研修会を開催。昨年4月に施行された限度超過車両の通行確認制度と、特車3制度の活用方法について解説した。

湯坐部会長は「深

刻な人手不足により、効率的な輸送が求められている。様々な課題や問題を抱えるなかで、昨年、

久間行政法務事務所（埼玉県さいたま市）の佐久間翔一代が、新潟ト協重量部会（湯坐征宏部会長）は9月26日、「特殊車両通行確認制度について」の研修会を開催。昨年4月に施行された限度超過車両の通行確認制度と、特車3制度の活用方法について解説した。

研修会の講演内容について、会員から、現場に即して特車制度の活用方法などの質問があり、佐久間氏は具体的な事例など

されましたが、この制度を含め、特車制度について理解と的確な活用方法を学びた

い」とあいさつ。講師を務めた佐

重部会研修会

新潟ト協重量部会（湯坐征宏部会長）は9月26日、「特殊車両通行確認制度について」の研修会を開催。昨年4月に施行された限度超過車両の通行確認制度と、特車3制度の活用方法について解説した。

研修会の講演内容について、会員から、現場に即して特車制度の活用方法などの質問があり、佐久間氏は具体的な事例など

されましたが、この制度を含め、特車制度について理解と的確な活用方法を学びた

い」とあいさつ。講師を務めた佐

重部会研修会

新潟ト協重量部会（湯坐征宏部会長）は9月26日、「特殊車両通行確認制度について」の研修会を開催。昨年4月に施行された限度超過車両の通行確認制度と、特車3制度の活用方法について解説した。

研修会の講演内容について、会員から、現場に即して特車制度の活用方法などの質問があり、佐久間氏は具体的な事例など

されましたが、この制度を含め、特車制度について理解と的確な活用方法を学びた

い」とあいさつ。講師を務めた佐

重部会研修会